



真鶴町寄贈の銘板石



真鶴町へ感謝状が贈られた

### 銘板石除幕式

友好都市・神奈川県真鶴町から、特産の巨大本小松石を磨き上げ「安曇野市役所」と刻んだ銘板石が寄贈されました。しゅん工式典に先立ち真鶴町の宇賀一章町長を招いて除幕式が行われました。



1階ロビーで職員が説明



4階パノラマラウンジ



### 内覧会を開催 約1,000人が見学

式典後最初の週末となった1月24日と25日に内覧会を開催しました。初日となった24日には市民の皆さん約1,000人が新庁舎を見学しました。

### 内覧会に参加して

#### 分かりやすく明るい 庁舎だと感じました

普段は支所で用事が足りるのでなかなか本庁舎を訪れる機会がないと思い見学会に参加しました。課など担当部署が分かりやすく表示されていて、とても機能性が良いと思います。足が不自由な人にも歩きやすく、庁舎内も明るくて利用しやすいと思いました。



よしこ  
矢花好子さん  
(明科七貴)

#### 庁舎と共に子どもの 成長を願っています

娘は、安曇野市が誕生した年に生まれ、今年で10歳になります。これからも通学時などこの庁舎を見ながら自分の成長を感じ取り、地域への愛着を持ってほしいと願っています。思っていた以上に安らぎと木のぬくもりを感じました。



ひではる  
重野秀治さん  
あつみ  
亜都美さん  
(豊科)



当日は雪となったしゅん工式典



しゅん工式典の様子 (4階大会議室)

# 市役所新本庁舎・防災広場 しゅん工式典行われる



あいさつする宮澤市長

**新**本庁舎と昨年12月に完成した防災広場のしゅん工式典が1月22日、新本庁舎4階で行われました。当日は、加藤さゆり副知事をはじめ友好都市や近隣市町村の首長、国・県・市議会議員、区長など関係者約400人が出席しました。宮澤市長は式辞で「新しい庁舎に魂を入れ込み、職員全員気持を新たに市政運営にあたりたい」と述べました。当日は、名誉市民の故青木祥二郎さんのご子息で、観世流能楽師の青木道喜さんの仕舞「高砂」の披露やあづみの新進音楽家による演奏のほか、内覧会も行われました。新本庁舎の完成により、これまで9カ所に分散していた本庁業務が集約されます。新本庁舎での業務開始は5月7日の予定です。なお、庁舎案内などは4月発行の広報でお知らせします。

### 【新本庁舎】

敷地面積：1万7,532.76平方メートル  
建築面積：4,927.37平方メートル  
延床面積：地上：1万6,325.43平方メートル  
地下：4,877.49平方メートル  
構造：地上4階、地下1階建て（鉄筋コンクリート、プレキャスト・プレストレストコンクリート、鉄骨）柱頭免震

### 【防災広場】

敷地面積：1万1,654平方メートル  
主な施設：防災多目的施設（2階建て）、多目的広場（芝地）、舗装広場、非常時電源設備、防火水槽



- ① 祝辞を述べる加藤副知事
- ② 着工から完成までの様子がパネルやDVDで紹介された
- ③ 仕舞「高砂」を舞う青木道喜さん
- ④ 招待者受付の様子

